令和7年度履修案内

専門をより深く、広く

大学院生、
学部5,6年次生
対象

自身の学びをデザインする
副専攻プログラム
高度副プログラム

1万人以上の阪大生が履修！

大阪大学
THE UNIVERSITY OF OSAKA

大阪大学学際大学院機構
Institute for Transdisciplinary Graduate Degree Programs

DWAA Double-Wing AcademicArchitecture

学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム

知の探究

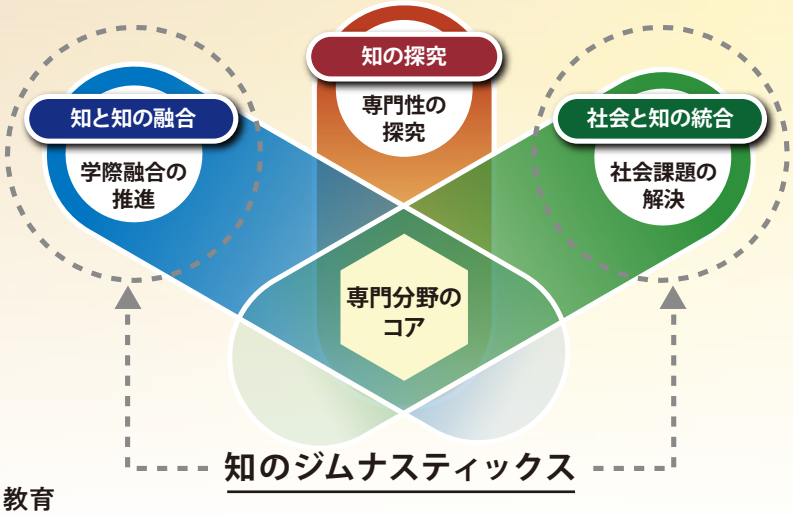
専門分野を深め、
専門家を育成する教育
（これまでの大学院教育の方向性）

知と知の融合

いくつかの異なる学問・研究分野
からなる複合領域を学修する教育

社会と知の統合

社会課題に対する解決に向けての
実践的な取り組みを通じて学修する教育



副専攻・高度副プログラムとは？

自身の知識の幅を広げ
俯瞰的視野・複眼的視点・体系的思考・主体的行動が
身につくプログラムです

- 関連科目をパッケージ化
- 分野外の新たな出会い
- 実践的なスキルも身につく

TIPS 副専攻と副プロの違いは修了要件単位数です!

令和7年度
73
プログラム開講!

22プログラム 大学院 副専攻プログラム

修了要件 14単位以上

もう一つの専門として異分野の学問を
しっかり深く学びたい人におすすめ

51プログラム 大学院等［通称 副プロ］高度副プログラム

修了要件 5~13単位以上

異分野の学問を体系的に学びたい人に
おすすめ 副専攻より単位数は少なめです

プログラムの 受講手続き

CHECK!

STEP.1

プログラムの受講申請

KOANから申請を受け付けているプログラムと、KOAN以外で申請を行うプログラムがあります。

※KOANでの操作方法は、i-TGPのウェブサイトをご覧ください。

STEP.2

プログラム構成科目の履修登録

プログラム受講申請をおこなったうえで登録してください。所属研究科が開講している科目は所属研究科が定めた履修登録期間に登録してください。

⚠ STEP1、2 両方の手続きが必要です

受講申請/科目の履修登録期間　4/9（水）15:00 ～ 4/17（木）13:00

※一部のプログラムは秋学期申請も可能です。

秋学期履修登録期間　9/24（水）13：00～　10/8（水）13：00

スケジュール

春学期申請の場合

4月

- **ガイダンス**
  - 合同ガイダンス（令和7年4月7日）
  - 個別ガイダンス

  ※一部のプログラムのみ
- **プログラムの受講申請**

  秋学期（9月）にも受講申請を受け付けているプログラムもあります。

各学期

- **プログラム構成科目の履修登録**

  KOANで登録します。

  ※一部の科目を除く
- **各プログラムに定められた科目の単位を修得**
- **各プログラムの修了要件を充足**
- **修了認定証交付**

  （3月末または9月末）

FAQ

博士前期課程2年次、博士後期課程2、3年次からでもプログラムの受講はできますか？

受講は可能です。スケジュール的にプログラムの修了要件を満たせるようであれば修了することも可能です。

修了認定証はどのように使えますか？

就職活動時などに参考資料として添付し、専門以外に体系的に学んだ内容をアピールすることができます。

受講にあたってわからないことがあれば、どこに相談したらよいですか？

i-TGPウェブサイトのお問い合わせページからお気軽に質問をしてください。

複数のプログラムを受講することは可能ですか？

はい、可能です。ご自身の授業計画や研究計画を鑑みて、ぜひ積極的に受講してください。

プログラム修了要件

プログラムを修了するには、以下の条件を満たす必要があります。

1.プログラムの受講申請をしていること。
2.プログラムが定めた修了要件を満たしていること。

ガイダンスの情報やプログラムの詳細はi-TGPのウェブサイトへ

https://itgp.osaka-u.ac.jp

プログラムを履修した先輩に聞きました!

先輩の体験談

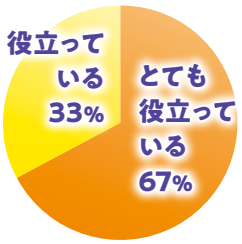
TAIKEN.1

履修のきっかけは?

- 専門だけではなくて隣接する分野を学びたかった
- チラシで知った
- 先輩、友人から勧められた
- 就活に使えるかなと思った
- 学部生の時に、パンフレットをもらった
- 社会に出て役に立つようにと思って履修した

毎年**9割以上**の学生にとってプログラムの受講は**役立っている**

令和5年度の受講者アンケートより



TAIKEN.2

履修して良かったことは?

- 新たな分野で学んだことを自分で調べたり、さらに関連する他のことを調べたりして、どんどん知識が広がった。好奇心が呼び起こされます。(工学研究科)
- 日本の古典芸能について広い知識を得られてよかった。文楽・浄瑠璃を初めて知りました。(法学研究科・留学生)
- 社会人も一緒に受講していたので、ディスカッションを通じて、社会で技術者として働く人たちから学ぶことが多かったです。(基礎工学研究科)
- 自分の専攻以外の学生や先生と授業を通じてつながりができ、気軽に相談することができました。(人文学研究科)

TAIKEN.3

忙しさは?
大変だったことは?
主専攻と両立できる?

- 研究の合間を縫って受講していました。大変だったけれど、忙しいからこそメリハリをつけて時間を使うことにつながり、そのことが専門研究を進める上でもとても良かったです。(副専攻「超域イノベーション副専攻プログラム」、副プロ「メディカルデバイスデザイン」履修生/医学系研究科)
- 修了要件が 16 単位の副専攻プログラムを履修。修士 1 年の時は副専攻の授業が 7 コマあり、研究科の専門とは違う分野のプログラムだったこともあって、めちゃくちゃ忙しかったです。しんどかったけど、得たものはかなりあったので、今となってはやってよかったです。(副専攻「金融・保険」履修生/基礎工学研究科)
- 教育現場で勤務しているため講義の時間と業務が被ることがあり、時間のやりくりが大変でした。講義の内容も初心者には難しいものが多かったですが、先生方が温かく受け入れてくださったので両立することができました。(副プロ「スポーツ医科学研究プログラム」履修生/人文学研究科)

TAIKEN.4

これから受講する人に一言

- 修了できなくてもデメリットはありません。メリットしかないので、気になったら取ってみて!充実した大学院生活のために、ぜひ受けてみてほしいです。
- 分野が違うと発想が全然違って、そこが面白い!こんな経験ができるのは、大学院の今だけです。
- どれだけ授業を取っても授業料は同じ。どんどん取ろう!まずは軽い気持ちで受講してみるとよいと思います。
- 自身の研究にも影響を与えてくれると思います。色んなことの両立で少し大変ですが、大学院生活が充実すること間違いなしです!
- 自分の好きなことを好きなだけ勉強できる時間は今しかありません。大変な部分もありますが、何とかなります。得られるメリットの方が大きいです。
- 主専攻で得た知識や経験に対する理解が深まり、視野が広がると思います。

TAIKEN.5

得た学び・知識・経験は研究やキャリアにどのように活かせている？

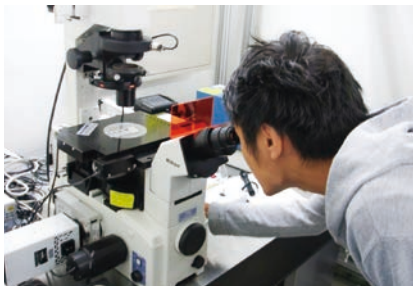
● 研究科の講義では学べない社会実装の知識を得られたことや、チームでの自主研究を経験できたことが良かったです。プログラムでの学びを通して、自分が何にやりがいを感じるのかに気づけ、進路を選ぶうえでの指針を見つけられました。（副専攻「超域イノベーション副専攻プログラム」、副プロ「メディカルデバイスデザイン」履修生／医学系研究科）

● 専門研究に隣接する領域を学んだので、修士論文にも厚みを出せると思います。多角的な視点や引き出しの多さは、就職先の分野や業界を考えるうえでも活かすことができ、視野を広げて活動できました。今後のキャリアでも活かしていきたいです。（副専攻「ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム」履修生／基礎工学研究科）

● 自分の研究内容にプログラムで学んだ内容を盛り込むことができました。また、若手研究者フォーラムで発表して奨励賞を獲得することができました。今後のキャリアにおいても統計学の知識を活かせるようなフィールドで活躍していきたいです。（副プロ「デジタルヒューマニティーズ」履修生／人文学研究科）

● 主専攻の実習現場で出会う問題を多角的に見られるようになったと思います。公認心理師として現場で働くと思っていたけれど、副プログラムでの学びを通して、キャリアの選択肢が広がりました。（副プロ「ユネスコチェア「グローバル時代の健康と教育～健康のための社会デザイン～」」、副プロ「公共圏における科学技術政策」履修生／人間科学研究科）

超域イノベーション副専攻・高度副プログラム



ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム

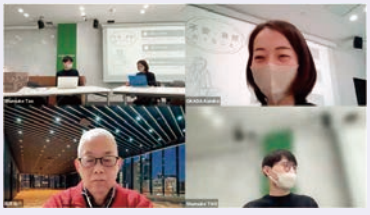
未来の大学教員養成プログラム

先輩から話を聞きたい！相談したい！そんな時は…

修了生インタビュー、修了生講習会企画など

1~2 ヶ月に1回程度開催

プログラムを修了した高学年次の大学院生や社会人をゲストとして招き、プログラムで学んだことの活用法を聞くことができます。ゲストとの対話や他分野の知識、人脈を広げる機会になっています。学部生・大学院生・教職員が聴講可能です。



受講者懇談会

毎年12月頃に開催

専門分野や学年の垣根を越えて、副専攻での学びについて紹介し合い、意見交換を行います。プログラムを受講した意図、意義、不安や負担など、忌憚のない生の声を聞くことができます。質問の時間もあり、学部生・大学院生が聴講可能です。

[令和7年度受講可能なプログラム]

副専攻プログラム一覧

プログラム名	提案（幹事）部局	修了要件単位数	履修対象者
未来共生プログラム	人間科学研究科	14単位	M・D
量子エンジニアリングデザイン研究特別プログラム※1	工学研究科	14単位	M
金融・保険	数理・データ科学教育研究センター	16単位	M・D
ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム（博士前期課程高度学際教育副専攻プログラム）	エマージングサイエンスデザインR³センター	14単位	M
ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム（博士後期課程副専攻プログラム）	エマージングサイエンスデザインR³センター	14単位	D
知的財産法を修得した人材育成	知的基盤総合センター	14単位	M・D
アーキビスト養成・アーカイブズ学研究プログラム	ミュージアム・リンクス	16単位	M・D
超域イノベーション副専攻プログラム	COデザインセンター	14単位	M・D
公共圏における科学技術	COデザインセンター	14単位	M・D
人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）※2	人文学研究科	14単位	M
人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）（人文社会系プログラム）※2	人文学研究科	14単位	M
人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）※2（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）	人文学研究科	14単位	M
人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）（人文社会系プログラム）※2	人文学研究科	14単位	M
言語文化学（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）※2	人文学研究科（外国学専攻）	14単位	M
人間科学（共生の生態）（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）※2	人間科学研究科	14単位	M
人間科学（共生の生態）（人文社会系プログラム）※2	人間科学研究科	14単位	M
法学・政治学（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）※2	法学研究科	14単位	M
法学・政治学（人文社会系プログラム）※2	法学研究科	14単位	M
経済学・経営学（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）※2	経済学研究科	14単位	M
経済学・経営学（人文社会系プログラム）※2	経済学研究科	14単位	M
国際公共政策学（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）※2	国際公共政策研究科	14単位	M
国際公共政策学（人文社会系プログラム）※2	国際公共政策研究科	14単位	M

高度副プログラム一覧

プログラム名称	提案（幹事）部局	修了要件単位数	履修対象者
グローバル・ジャパン・スタディーズ	人文学研究科	10単位	M・D
グローバルヒストリー	人文学研究科	8単位	M・D
デジタルヒューマニティーズ	人文学研究科（言語文化学専攻）	8単位	M・D
世界の言語文化とグローバリゼーション	人文学研究科（言語文化学専攻）	8単位	M・D
言語学	人文学研究科（言語文化学専攻）	8単位	M・D
グローバル地域研究	人文学研究科（外国学専攻）	8単位	M・D
トランスカルチャーの技法	人文学研究科（外国学専攻）	6単位	M・D
大学マネジメント力養成・向上プログラム	人間科学研究科	8単位	M・D
ユネスコチェア「グローバル時代の健康と教育～健康のための社会デザイン～」※1	人間科学研究科	8単位	B5・B6・M・D
基礎理学計測学	理学研究科	7単位	M・D
健康医療問題解決能力の涵養	医学系研究科（医）	8単位	M・D
スポーツ医科学研究プログラム	医学系研究科（医）	8単位	M・D
健康・医療イノベーションプログラム	医学系研究科（医）	8単位	M・D
医学倫理・研究ガバナンスプログラム	医学系研究科（医）	8単位	M・D
死因究明学に根ざした法医学者・法歯学者養成プログラム	医学系研究科（医）	13単位	D
死因究明学プログラム	医学系研究科（医）	7単位	M・D

令和7年度は73のプログラムを開講!

プログラムの詳細はこちらから

プログラム名称	提案(幹事)部局	修了要件単位数	履修対象者
科学技術をイノベーションにつなぐために	工学研究科	8単位	M・D
高度溶接技術者プログラム	工学研究科	10単位	M・D
量子エンジニアリングデザイン研究特別プログラム※1	工学研究科	8単位	D
安全なデータ利活用のためのセキュリティ人材育成プログラム	工学研究科	5単位	M・D
グローバルリーダーシップ・プログラム	国際公共政策研究科	8単位	M
感染症学免疫学融合プログラム	微生物病研究所	10単位	D
行動経済学	社会経済研究所	6単位	M・D
アディティブ・マニュファクチャリング・テクノロジー	接合科学研究所	12単位	M・D
インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践	国際教育交流センター	8単位	M・D
予測社会医学プロフェッショナル育成	国際医工情報センター	8単位	M・D
メディカルデバイスデザイン	国際医工情報センター	8単位	M・D
バイオメディカルインフォマティクス	国際医工情報センター	9単位	M・D
バイオマテリアル学	国際医工情報センター	9単位	M・D
数理モデル	数理・データ科学教育研究センター	8単位	M・D
ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士前期課程高度学際教育)※1	エマージングサイエンスデザインR³センター	9単位	M
ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士後期課程教育研究訓練プログラム)	エマージングサイエンスデザインR³センター	9単位	D
ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(後期課程社会人ナノ理工学特別コース)	エマージングサイエンスデザインR³センター	12単位	D
ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士後期課程社会人特別選抜)	エマージングサイエンスデザインR³センター	10単位	D
知的財産法を修得した人材育成	知的基盤総合センター	6単位	M・D
ヒューマン・メタバース疾患学	ヒューマン・メタバース疾患研究拠点	7単位	D
共創的放射線教育プログラム(CREPE)※1	放射線科学基盤機構	8単位	M・D
未来の大学教員養成プログラム	全学教育推進機構(大学院)	6単位	M・D
社会の臨床	COデザインセンター	8単位	B5・B6・M・D
超域イノベーション高度副プログラム	COデザインセンター	8単位	M・D
ヒトはいかにして人になったか	COデザインセンター	5単位	M・D
対人支援現場における対話	COデザインセンター	5単位	B5・B6・M・D
マイノリティ・スタディーズ	COデザインセンター	5単位	B5・B6・M・D
公共圏における科学技術	COデザインセンター	8単位	M・D
表現から創作まで:すべての感覚をつかって思考する	COデザインセンター	5単位	B5・B6・M・D
アート・ファシリテーション	中之島芸術センター	8単位	M・D
キャリアデザイン	キャリアセンター	5単位	M・D
大学院生のための工学入門(マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)※2	工学研究科	5.2単位	M
大学院生のための工学入門(理工情報系プログラム)※2	工学研究科	5.2単位	M
データサイエンス(マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)※2	数理・データ科学教育研究センター	8単位	M
データサイエンス(理工情報系プログラム)※2	数理・データ科学教育研究センター	8単位	M

履修対象者
- M　博士前期課程、修士課程、生命機能研究科の博士1・2年次、法科大学院の課程
- D　博士後期課程、博士課程、生命機能研究科の博士課程3年次以上
- B5.B6　6年制課程の学部(医・歯・薬学部)の5.6年次

※1:英語で修了できるプログラム
※2:申請時期・申請方法などが異なるプログラム

大阪大学 大学院副専攻プログラム・大学院等高度副プログラム

| 問い合わせ | 教育・学生支援部 大学院教育改革推進室教育支援係　mirai-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp　https://itgp.osaka-u.ac.jp

大阪大学
学際大学院機構

Institute for
Transdisciplinary Graduate Degree Programs

もっと詳しく知りたい

プログラムの最新の情報は、各プログラムの公式サイトやi-TGPのウェブサイトを参照してください。
i-TGPのウェブサイトでは、各プログラムの情報を集約して掲載しています。

大阪大学学際大学院機構
Institute for Transdisciplinary Graduate Degree Programs

https://itgp.osaka-u.ac.jp/

阪大 itgp　検索